

ICTイノベーションセミナー 2019 in 東海

SCOPE成果発表会と 中小企業技術開発支援

電磁界
干渉抑制



車椅子
褥瘡予防



バス
路線案内



◆日時

2019年12月5日(木)

13:30～17:00

◆会場

ウインクあいち 1204会議室

◆プログラム

13:30～ 開会

13:35～ 特別講演

14:05～ SCOPE研究成果発表

15:55～ 研究開発支援施策等の紹介

16:15～ 閉会

歌声合成



本セミナーはどなた
でもご参加可能です。
皆様お誘い合わせの
上、奮ってご参加くだ
さい。

◆申込方法

12月4日(水)までに、件名を「ICTイノベーションセミナー2019in東海参加希望」として、組織名・所属、氏名、連絡先(電話番号)を記載のうえ、以下の電子メールアドレス又はFAX番号あて送信してください。

※お申込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報は、当該セミナーへの参加集約にのみ使用し、セミナー終了後廃棄します。

【申込先】

東海総合通信局 情報通信連携推進課 研究開発推進担当

電話:052-971-9316

FAX:052-971-3581

e-mail:tokai-renkei-kenkyu@soumu.go.jp

主催 総務省 東海総合通信局
東海情報通信懇談会

後援 一般社団法人 電子情報通信学会 東海支部



特別講演

13:35～14:05

SCOPEを活用した新たな産学連携の取り組みについて
(前)SCOPEサポーターグループ事務局
一般社団法人九州テレコム振興センター
専務理事 広岡 淳二 氏



SCOPE 研究成果発表

14:05～15:55

1. ビッグデータを用いた深層学習に基づく統計的パラメトリック歌声合成技術の研究開発

研究代表者：株式会社テクノスピーチ 研究開発部 中村 和寛 氏

【概要】

近年、ビッグデータとして蓄積されつつある歌声のデータをもとに、ニューラルネットワークに基づく深層学習による歌声合成技術の実現に向けた研究開発を行う。現在普及している歌声合成ソフトウェアは、あらかじめ収録した波形素片をルールに従って接続する方式が多く、自然に歌わせたり歌唱スタイルを付加するためには高度な調整作業が必要である。本研究開発では、深層構造を持つニューラルネットワークを用いた歌声合成手法を学習に用いつつ、統計的パラメトリック歌声合成技術を組み合わせることにより、合成時の計算量を下げながら自然性の高い歌声を合成することが可能な歌声合成システムの実現を目指す。



2. 公共空間での実利用を想定した「しゃべる」バス路線案内システムの実現

研究代表者：名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 山本 大介 氏

【概要】

音声対話技術やWebマップ技術等を活用した、デジタルサイネージ型のバス停を開発する。見やすい路線マップや分かりやすい音声案内を実現すると同時に、3Dキャラクターや表現豊かな感情音声合成技術を搭載するなどしてバス停の魅力を高めることにより、バス停自身が旅行者や地域の住民にバス利用を促し、バス路線の利用率向上や人々の往来が増えることで、地域の活性化が期待できる。



3. 布圧力センサを用いた車椅子用褥瘡予防支援システムの研究開発

研究代表者：名古屋大学大学院情報学研究科 教授 間瀬 健二 氏

【概要】

現状では理解や介護補助システムの研究開発が不十分な車椅子利用時の褥瘡予防や病理の詳細な解明を目的として、医師・看護師・介護者に適切なフィードバックを提供して褥瘡予防を支援するシステムを構築する。実運用を通して収集した体圧分布データの分析から、圧力センサを用いた場合に利用できる介護尺度などの整備を進めることを目指す



4. 新規波形選択材料による電磁界干渉抑制の研究開発

研究代表者：名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 若土 弘樹 氏

【概要】

通信機器や電子回路が外部電磁界にさらされ動作に影響を及ぼす電磁界干渉は同一周波数上で通信用電波と電磁界雑音が入り混じった場合に解決が困難となる。本研究では近年申請者が世界で初めて実現した波形選択材料を開発・応用することで同一周波数上での電磁界干渉問題の解決を目指す。フェーズIでは波形選択材料の更なる特性の拡張を目指す。フェーズIIではその材料特性を現実的な電磁界干渉問題へと応用し、波形選択性の効果を明らかにする。



研究開発支援施策等の紹介

15:55～16:15

NICTの地域連携活動とSCOPEにおける連携・活用について